

会議録【要点筆記】

会議名称	令和7年度第3回米沢市観光振興委員会			
開催日時	令和7年11月21日(金) 10時00分~12時00分			
開催場所	アクティー米沢 2階 第1多目的室			
出席者	(氏名)	(所属団体等)		
	委員長 遠藤 勲	一般社団法人米沢観光コンベンション協会 理事		
	副委員長 田中 明子	米沢商工会議所 理事兼事務局長		
	委員 松田 智博	協同組合米沢市商店街連盟 理事長		
	委員 野本 真穂	山形県立米沢鶴城高等学校 教諭		
	委員 中嶋 朱実	NPO法人米沢伝承館 副理事長		
	委員 高橋 弦子	米沢市社会福祉協議会 総務管理課長		
	委員 黒澤 光高	米沢ブランド戦略会議委員		
	委員 宮崎 市朗	公募委員		
欠席者	(氏名)	(所属団体等)		
	委員 入間川 悟	東日本旅客鉄道株式会社 米沢駅長		
	委員 小形 喜代之	山形おきたま農業協同組合 米沢・川西地区統括支店長		
	委員 黒田 三佳	米沢市国際交流協会 会長		
	委員 遠藤 平右衛門	温泉米沢八湯会		
	委員 宮坂 匡	公益社団法人米沢青年会議所 まちづくり委員長		
	委員 寒河江 大輔	上杉文化エリア懇話会		
	オブザーバー 宮嶌 浩聰	プラットヨネザワ株式会社 代表取締役		
	オブザーバー 小田 航平	プラットヨネザワ株式会社 取締役		
	事務局 青木 一成	米沢観光コンベンション協会 事務局長		
事務局出席者	富取課長、川井課長補佐、佐藤(功) 観光企画主査、佐藤(祥) 主任			
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・委員名簿 ・第5期米沢市観光振興計画の策定について(資料) 			
会議内容				
<p>【1 開会】</p> <p>【2 委員長挨拶】</p> <p>■委員長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの有力旅行メディアであるナショナルジオグラフィックが「2026年に行くべき世界の旅行先 25選」において、山形県を選出したとの発表があり、本市の雪灯籠まつりの様子が紹介されている。世界中の方が山形に目を向ける良い機会になると思う。 ・蔵王ではインバウンドが多く来ており、ロープウェイ乗り場が混雑している状況であ 				

り、台湾の旅行会社が敬遠し始めているという情報がある。また、出国税が1人1,000円から3,000円へ引き上げられるという情報もあり、こういった話が観光産業において足かせにならなければいいと思っている。

- ・次期計画策定に向けて本日も様々な意見をいただきたいと思うのでよろしくお願ひしたい。

<議事へ移る前に、事務局より協議事項等について説明する>

■本会議の定足数について、委員8名が出席しており、総委員数の過半数を超えていることから、本会議は成立する旨説明する。

■会議録の公開等について次のとおり説明し、協議を行う。

- ・本日の会議録については、要点筆記とし、発言者名は記載しないこととする。
 - ・会議録は公開することとする。なお、次のいずれかに該当するとき、会議録の全部または一部を非公開とすることができる。
 - (1) 法令等の規定により公開することができないとされているとき。
 - (2) 会議での審議内容が、不開示情報に該当すると認められるとき。
 - (3) 会議を公開することにより、公正かつ円滑な審議が著しく阻害されると認められる場合で、審議会等の決定により、その会議の全部又は一部を公開しないとしたとき。
 - ・委員の方の個人情報については、国の機関、地方公共団体、関係団体、市民及び報道機関より、情報提供の依頼があった場合は、名簿に掲載してある範囲に限って提供させていただく。
- 委員より意見等無いため、上記のとおりの対応とさせていただく。
- 本会議の議事録署名人について、黒澤委員、高橋委員へお願ひする。

【3 議事】

【協議事項 第5期米沢市観光振興計画の策定について】

■事務局より説明（1ページから55ページまで）

■委員長

- ・重点プロジェクトについて、第4期計画においては「重点プロジェクト」としていたが、第5期計画では「重点的視点」となっているが何か違いはあるのか。

■事務局

- ・大きな変更点はなく表現の仕方を変えただけである。

■委員

- ・1ページで本市の令和6年の観光消費額が記載されているが、この分のうち国内旅行者分とインバウンド分の消費額がそれぞれいくらか把握しているか。

■事務局

- ・国内旅行者分は14,208百万円、インバウンド分は1,217百万円、計15,425百万円となる。

■委員

- ・令和12年に実施予定の「上杉謙信公生誕500年プロジェクト」について市としてどのような方針で行うといったものは決まっているか。

■事務局

- ・詳細は決まっておらず、これから検討するという状況である。

■委員

- ・53ページの重点的視点(2)の内容について、伊達家ゆかりの都市に関する部分は削除した方が良いのではないかと思う。

■委員長

- ・53ページの重点的視点(1)の内容について、現在、小野川温泉の活性化プロジェクトが実施されていることから、「小野川温泉を中心として米沢八湯を活用する」という文言に変更できないか検討してほしい。

■事務局より説明（56ページから76ページまで）

■委員

- ・米沢八湯の温泉名について答えられない若者が多い状況である。小中学生のうちから本市の歴史や観光資源について勉強する機会が必要と思われるため、この点、計画内に記載をしてほしい。

- ・59ページの主な取組アの人手不足の問題解決の部分と、高校生や大学生の関わりの部分について具体的な記載内容にしてほしい。

- ・59ページの主な取組イについて、今後、人口減少、若者の減少が想定されることから、イベント等の運営のスリム化を検討するべきではないか。

- ・道の駅米沢においてまちナビカードを配布しているが、西置賜の店舗のカードが少ない状況である。道の駅米沢から置賜全域に観光客を誘導できるよう今後何か対策を行ってほしい。

■委員

- ・国の方針として今後インバウンドの誘致を更に拡大していくことや、ナショナルジオグラフィックが「2026年に行くべき世界の旅行先 25選」において山形県を選出したこともふまえ、本市へのインバウンド誘致拡大のために、山寺や蔵王と連携することで誘客につなげられないかと思う。

- ・置賜の食を活用した観光振興について力を入れてほしい。

- ・58ページで、映画「好きでも嫌いなあまのじゃく」に係る情報発信と記載があるが、この映画は今後もインターネットで配信されるため、情報発信を継続して行ってほしい。

■委員

- ・55ページの計画推進の役割の下部にある実施主体において、「学生」という文言を追記していただければと思う。

- ・計画案について、全体的にもう少し具体的な表現内容としていただき厚みを持たせてほしい。

- ・62ページの情報発信の部分について、障がい者や体の不自由な方であっても米沢に来たいと思えるような情報発信をしてほしいと思う。
- ・質問であるが、観光大使についてどのような活動をしているか教えてほしい。
- ・市民が米沢の文化や歴史、観光資源などに興味を持つことを促す施策を今後実施してほしい。

■委員長

- ・障がい者や体の不自由な方であっても米沢に来たいと思えるような情報発信という点について、ユニバーサルツーリズムの推進ということで、58ページのエの各種ツーリズムの推進の中に追記するという案もあるかと思うので検討いただきたい。

■事務局

- ・観光大使について、種類としては、依頼型、公募型、米澤型の3つがあり、その他に米沢食の種まき大使、米沢食の親善交流大使といったものがある。依頼型については、著名な方が大使となっており、イベント開催時にステージ出演するといった活動をお願いしている。来年の雪灯籠まつりでは、声優の村上奈津実さんに参加していただく予定としている。各大使と連携した情報発信がうまく実施できていない状況であるため、この点、今後改善していきたいと考えている。

■委員

- ・伝統産業に携わっていることから、伝統工芸関係について計画内でもっと目立たせてほしいと思う。多くの方々に伝統工芸の技術について知ってほしいと考えているため、このような点を施策に取り入れてほしい。
- ・インバウンド誘致拡大という意見もあるが、ターゲットとしてインバウンドに重きを置いてしまうと、世界情勢で何かあった場合のリスクになると思う。国外のターゲットとして、台湾や中国だけに絞らず、欧州といった別の地域へ情報発信することも必要ではないかと思う。また、インバウンドだけではなく、国内の近隣の地域からの誘客に力を入れることも重要である。

■委員

- ・本市には高校生や大学生といった学生が多くいるので、この点を観光振興に活用してほしい。先日、雲井龍雄コンテストというイベントの情報があったが、雲井龍雄氏について深く学習できる良い機会だと思った。こうした学生向けのコンテストのようなイベントを開催することで、本市の歴史や偉人などについて学生が深く学べる機会になるので、このようなイベントの開催を検討してほしい。
- ・32ページから51ページまで記載している本市のデータ関係から、本市への来訪者は中年層や老年層が多い状況であることから、こうした年齢層を今後ターゲットにするべきである。

■委員

- ・以前、私の知人が本市の温泉旅館に泊まった際に、「特に何もしないで過ごした」と話していたことがあったため、温泉で何もせずに静かに過ごすということを情報発信することも一つの方法ではないかと思う。

- ・計画内に市民の役割という記載があるが、市民が観光客へ接する際に、温かみのある対応をすることが大切だと思う。例えば、あえて方言を使った米沢人らしい観光案内をすることで温かみが出るよう思う。こうした「米沢人らしさ」による観光客の対応を促す施策について検討してほしい。
- ・以前も話したが、道路や歩道の整備をし、自転車の利用者や歩行者が通行しやすいようにしてほしい。長期的な計画でかまわないので、今後この点を検討してほしい。

■委員

- ・全体的に、実施できる取組については自信のある書き方になっているが、実施できるか分からぬ取組については抽象的な書き方となっており、その点、具体的な記載にできないかと思う。
- ・高齢者の観光客を受け入れる体制の整備について、67ページにある施設のバリアフリー化とトイレ洋式化の記載のみとなっており、他にも何か取組を記載できないかと思う。
- ・66ページの主な取組アに記載のある、観光業従事者向けの接遇レベルアップについては、観光客を受け入れるにあたり最も重要な点であるため、積極的に取り組んでもらいたい。
- ・67ページに記載のある「市民が自分たちのまちについて学ぶ機会の提供」について、誰であっても自分たちのまちのことを観光客に話せるようになるためにはどのような施策を行うとよいかということについて深く考えてほしいと思う。
- ・66ページに記載のある、「住民による温かい「おもてなしの心」は、観光客に「特別な存在として扱われている」という感情を与え・・・」の部分について、「おもてなしの心」は「特別な存在として扱われている」という感情を与えることには繋がらないと思われるため記載内容を変えるべきである。
- ・道の駅米沢でのまちナビカード配布の件について、これを道の駅に置いておけばいいということではないので、その点注意願いたい。パンフレットやチラシなども同様であるが、置いておくだけではなく、見てもらうにはどうしたらよいかと考えることが重要である。また、情報発信について地元にあるニューメディアと連携して行っていくことを検討してほしい。

■委員

- ・66ページに記載のある、「住民による温かい「おもてなしの心」は、観光客に「特別な存在として扱われている」という感情を与え・・・」の部分について、私も記載内容を変更するべきだと思う。「家族のように受け入れる」といったような内容に変更すると良いのではないか。

■委員長

- ・おしゃうしなガイドについて、人によって力量や態度にばらつきがあるという話があるようである。ガイド全員が統一した案内ができるよう、レベルの底上げや基礎研修が必要だと思われるため、この点、検討してほしい。

■委員

- ・おしょうしなガイドの勉強会などは行っているのか。

■事務局

- ・おしょうしなガイドの会として、他の地域へ視察に行くということは毎年実施している状況である。

■委員

- ・以前、伊藤忠太の会として、東北芸術工科大学の先生を招いて上杉神社について勉強会を行ったことがあったが、そこにおしょうしなガイドの方が参加しており、大変勉強になったと話されていた。このような勉強会はガイドのためになると思うのでぜひ今後実施を検討してほしい。

■委員長

- ・71ページの主な取組アの二次交通整備の部分について、米沢駅から各観光施設や各温泉などへのアクセスを良くする上でも、ぜひ積極的に整備の推進を図ってほしいと思う。

■事務局

- ・計画案について、現在、市役所内で担当課に確認を依頼している状況であるため、今後修正する可能性がある。
- ・委員の皆様よりいただいた意見を全て計画に反映させるのは困難であることについてご承知おきいただければと思う。

■委員長

- ・各委員から本日出された意見の反映について事務局で検討していただき、計画案に反映できるものは反映していただければと思う。
- ・これで議事を終了する。

【4 その他】**■委員**

- ・本日の会議を開催しているアクティー米沢の建物の近くに平田東助像があり、その像の土台部分は伊藤忠太が設計しているため、機会があればぜひこの像を見ていただければと思う。

■事務局

- ・今後の会議とパブリックコメントのスケジュールについて、次第の下部に記載のとおりとなる。

■委員

- ・パブリックコメント実施後に、市民からどのような意見がありそれに対しどのような回答を行ったかについて委員へ報告をしてほしいと思う。

■事務局

- ・報告する時期や報告の仕方について確認することとする。

【5 閉会】

この会議録（会議要旨）が正確であることを承認します。

会議録（会議要旨）署名人

委員 黒澤光高

委員 高橋弦子